

## 2017 年度大学入試センター試験 解説〈世界史B〉

### 第 1 問 世界史上のマイノリティ (少数派)

A

問 1  正解は④。

キリスト教の異端カタリ派は、南フランスのアルピを中心地としたのでアルビジョワ派ともいわれる。13 世紀前半にローマ教皇インノケンティウス 3 世の提唱でアルビジョワ十字軍が組織され、1229 年にフランス王ルイ 9 世によって終了した。①ネストリウス派は 431 年のエフェソス公会議で異端とされた後に東方に伝播し、唐代に中国に伝わり景教と呼ばれた。漢はエフェソス公会議が開催される以前の 220 年に滅亡した。②フスが異端として火刑となったのは、1414 年から開催されたコンスタンツ公会議である。トリエント公会議は 1545 年から開催された公会議で、ローマ＝カトリックの教義やローマ教皇の至上性などを確認した。③アリウス派は三位一体さんみいつたいを否定してイエスの人性を強調した。三位一体説は、アタナシウスが主張した神とイエスを同質なものとする説から発展した、キリスト教の正統教義である。

問 2  正解は③。

ベルベル人はマグリブ地方 (モロッコなど) に住む民族で、7 世紀にウマイヤ朝の侵攻を受けて以降イスラーム教への改宗が進み、モロッコにムラービト朝やムワッヒド朝などのイスラーム王朝を建設した。①モノモタパ王国が栄えたのはニジェール川流域ではなく、アフリカ大陸南部のザンベジ川流域。ニジェール川はサハラ砂漠以南を流れるアフリカ大陸西部の河川で、ガーナ王国・マリ王国・ソンガイ王国などのイスラーム王国が栄えた。②アマルナ美術が栄えたのは、新王国時代のアメンホテプ 4 世の治世である。クフ王は古王国時代のファラオで、ギザにピラミッドを建設させた。④マダガスカルを植民地としたのは、フランスである。ドイツはアフリカ分割に際して、現在のタンザニア・ナミビア・カメルーンなどを植民地とした。

問 3  正解は④。

ビザンツ帝国 (東ローマ帝国) の皇帝レオン 3 世は 726 年に聖像禁止令 (聖像崇拜禁止令) を発し、キリスト教当初の原則に立ち返り、聖像の崇拜を禁止したほか偶像の破壊を命じた。これは聖像を利用してゲルマン人に布教活動を行っていたローマ教会との対立を生み、ローマ教会はフランク王国に接近した。①アラゴン王国とカスティリヤ王

国が統合して成立したのは、スペイン王国である。ポルトガル王国はカスティリヤ王国から独立して成立した。②ラテン帝国が成立したのは、第4回十字軍のときである。第7回十字軍では、フランス王ルイ9世がチュニジアに侵攻した。③シチリア王国は、ノルマン人によって建国された。アヴァール人はアジアからヨーロッパに侵入したがフランク王国のカール大帝に敗れ、マジャール人などに同化された。

## B

問4  正解は②。

全インド＝ムスリム連盟が成立したのは1906年のことであり、年表中のの時期にあたる。インドではすでに民族主義団体としてインド国民会議が組織されており、インド人が団結して反発することを防ぐため、1905年にインド帝国の総督カーゾンがベンガル分割令を発した。これに対してインド国民会議は1906年にカルカッタ大会を開催して4綱領を採択し、インド政庁との対決姿勢を鮮明にした。そこでイギリスは民族運動の高揚を抑えるため、インドにおいて少数派であったムスリムの離反を図り、1906年に全インド＝ムスリム連盟の結成を支援した。全インド＝ムスリム連盟は当初は親英路線をとっていたが、やがてインド国民会議と協調してイギリスからの独立を目指すようになった。

問5  正解は②。

サラディン(サラフ＝アッディーン)は、1169年にアイユーブ朝を創始した。1187年にエルサレムを十字軍国家との戦いに勝利して奪回し、再奪回を目的に派遣された第3回十字軍の侵攻からエルサレムの防衛に成功した。①アイバクが創始したのは、インドの奴隷王朝。カージャール朝は18世紀にアーガー＝ムハンマドがイランに創始した。③ベルベル人のムワッヒド朝はモロッコに成立し、イベリア半島に進出した。アナトリアに進出したのはセルジューク朝などのトルコ系王朝である。④アチェ王国はスマトラ島北部に成立した。セイロン島ではイスラーム王朝は成立していない。

問6  正解は②。

aは正文、bは誤文である。a—**チョーラ朝**は前3世紀にインド南東部に成立した王国で、インド洋交易で発展し、最盛期にはスリランカも支配した。また東南アジアのシュリーヴィジャヤに侵攻したほか、宋に使節を派遣するなど活動範囲は広大なものであった。b—**ゴア**をアジア貿易の根拠地としたのは、イギリスではなく**ポルトガル**である。イギリスはボンベイ・マドラス・カルカッタに東インド会社の商館を設置し、これらの都市をインドとの貿易の根拠地とした。

## C

問7  正解は③。

ラトヴィアはエストニア・リトアニアとともにバルト3国と呼ばれ、第一次世界大戦中に発生したロシア革命で独立し、第二次世界大戦中にソ連の侵攻を受けてこれに併合された。その後、ソ連末期の1990年に独立を宣言し、翌年に独立が国際的に承認された。

- ①アイグン条約は1858年にロシア帝国と清が締結した条約であり、明は1644年に滅亡している。②ロシアがアラスカを売却した相手は、カナダではなくアメリカ合衆国である。④ソ連がアフガニスタンから撤退したのは1988～89年にかけてのことで、このときのソ連の指導者はフルシチョフではなくゴルバチョフである。フルシチョフは1964年にソ連共産党第一書記を解任されている。

問8  正解は③。

aは誤文、bは正文である。a—グラフからドイツの銑鉄生産量<sup>せんてつ</sup>がイギリスを初めて上回ったのは1900年代半ばであることが読み取れる。第一次世界大戦の期間は1914～18年であり、第一次世界大戦前からドイツの銑鉄生産量はイギリスを上回っているため、誤文であることが分かる。b—ロシア(ソ連)で第2次五カ年計画が実施された時期は1933～37年である。グラフではロシア(ソ連)の銑鉄生産量は1930年代前半から半ばにかけて大幅に伸びていることが読み取れ、第2次五カ年計画の時期と合致するため正文であることが分かる。

問9  正解は④。

チェチェン紛争が勃発したのは1994年のことであり、年表中のの時期にあたる。チェチェン紛争はソ連解体後のロシア連邦とチェチェン共和国の独立をめぐる紛争である。ロシア連邦のエリツィン大統領は独立を認めず、軍事的制圧を開始した(第1次チェチェン紛争)。1996年にチェチェン側の指導者が死亡したことで和平が成立して終結したが、1999年に再び独立強硬派が活動を開始するとロシア連邦と再度の軍事衝突が起こった(第2次チェチェン紛争)。

## 第2問 世界史上の革命や政治体制の変化

### A

問1  正解は④。

ミドハト憲法が制定されたのは、インドではなくオスマン帝国である。19世紀前半からオスマン帝国ではタンジマートと呼ばれる近代化改革が行われ、その集大成として

1876 年に宰相ミドハト = パシヤの起草した憲法 (ミドハト憲法) が発布された。この憲法はアジアで最初に制定された近代的な憲法であった。① 1946 年に公布された日本国憲法では、前文や第 1 条などで主権在民 (国民主権) を規定している。② 1787 年に採択されたアメリカ合衆国憲法では、三権分立の原則や連邦主義を採用した。③ 1919 年に採択されたヴァイマル憲法は当時最も民主的な憲法といわれ、男女平等の普通選挙のほか世界で初めて社会権について規定した。

問 2  正解は②。

ペルシア戦争後のアテネではペリクレス将軍の指導下で直接民主政が完成し、成年男性市民で構成される民会を最高議決機関とした。① フランクフルト国民議会は、メッテルニヒがウィーン三月革命で亡命した後のドイツにおいて、ドイツの統一などについて討議した。③ 模範議会が開催されたのは、フランスではなくイギリスである。模範議会は、1295 年にエドワード 1 世が招集した身分制議会である。④ ドウーマはロシア語で「議会」を意味する語句で、1905 年の第 1 次ロシア革命において皇帝ニコライ 2 世が十月宣言で開設を約束し、翌年に開催された。

問 3  正解は①。

a・b ともに正文である。a ルイ = フィリップはフランス七月王政の国王で、1830 年の七月革命でブルボン朝のシャルル 10 世の亡命後に即位した。七月王政では資本家を重要視した極端な制限選挙制を採ったために庶民の不満が高まり、1848 年の二月革命が起こるとルイ = フィリップはイギリスに亡命し、フランスでは第二共和政が成立した。b 19 世紀後半から 20 世紀初めにかけてヨーロッパ列強はアフリカの植民地化を進め、リベリア共和国とエチオピア帝国以外の地域は全て植民地化された。リベリア共和国は、アメリカ合衆国の解放奴隷がアフリカ大陸に渡って建国した。

## B

問 4  正解は①。

ラテン人が建設したローマでは初期に王政が行われていた。最初はラテン人が王となっていたが、やがて北部に住むエトルリア人の支配を受けるようになり、一時エトルリア人が王となった。前 6 世紀末にラテン人はエトルリア人の王を追放し、ローマは共和政に移行した。② 共和政の前期では要職は貴族 (パトリキ) が独占していた。やがて貴族と平民 (プレブス) の身分闘争の中で、前 367 年のリキニウス・セクスティウス法が成立して平民の執政官 (コンスル) への就任が可能になるなど、平民の要職就任が進んだ。③ 前 27 年にオクタウィアヌスが元老院からアウグストゥスの称号を贈られたことで、ロー

マでは帝政が始まった。コンスタンティヌス帝は、4世紀前半のローマ皇帝である。④ローマ帝国は395年にテオドシウス帝の死後、東西に分裂した。ユスティニアヌス帝は、6世紀前半のビザンツ帝国(東ローマ帝国)の皇帝である。

問5  正解は②。

地図中のaはアムステルダム、bはヴェネツィアである。中世のヨーロッパ世界では封建社会の安定によって遠隔地貿易が復活した。特に北イタリアの諸都市は、地中海東岸部の都市から香辛料や絹織物などアジア産の特産品を買い付けてヨーロッパ各地に販売する貿易を行って、莫大な利益を上げた。これを東方貿易(レヴァント貿易)と呼ぶ。代表的な都市がヴェネツィアやジェノヴァである。アムステルダムはネーデルラント北部の都市で、オランダ独立戦争の過程で南部の都市がスペイン軍によって攻撃され、商人や職人が避難してきたことで、オランダの独立後はヨーロッパ世界の金融・商業の中心として繁栄した。

問6  正解は②。

リード文に登場するミハイル＝ロストフツェフはロシア人なので、下線部⑥の「故国で生じた革命」はロシア革命を指す。キール軍港の水兵反乱は第一次世界大戦末期の1918年にドイツで発生し、これをきっかけにドイツ革命が起こった。①「土地に関する布告」は、ロシア十月革命(十一月革命)で成立したソヴィエト政権が採択したものである。③ロシア二月革命(三月革命)の結果臨時政府が成立したが、この革命で労働者・兵士の代表はソヴィエトを結成しており、二重権力状態にあった。レーニンが「四月テーゼ」を発表して、「すべての権力をソヴィエトへ」移譲することを求めた。④ケレンスキーは社会革命党(エス＝エル)の政治家で、二月革命後に成立した臨時政府に参加し、後に首相となった。彼の政権はボリシェヴィキによる十月革命によって倒れた。

C

問7  正解は①。

にはディアス、にはサパタが入る。19世紀後半にメキシコの大統領となったディアスは長期の独裁政権を築き、貧富の差が拡大する中で農村を中心に不満が高まっていた。1910年に彼が大統領選挙で再選すると、自由主義者のマデロは武装蜂起を呼びかけ、これに農民出身のサパタやビリャらが呼応してメキシコ革命が勃発し、1911年にディアスはアメリカ合衆国に亡命した。その後マデロは政権運営に失敗し、彼が軍部によって暗殺されるとメキシコは内戦状態になり、カランサ派によって收拾した。そしてカランサは民主的な憲法を制定して大統領に就任した(メキシコ革命の終結)。フラ

ンコは1936年に反乱を起こして政権を獲得したスペインの軍人。ペロンは第二次世界大戦後にアルゼンチンで独裁政治を行った大統領である。

問8 17 正解は②。

汪兆銘(汪精衛)は中華民国の政治家で、孫文死後の国民政府を指導する蔣介石と対立し、日中戦争が始まり国民政府が重慶に遷ると、国民政府から離脱して日本との和平を模索した。その後1940年に南京で親日政権(対日協力政権)を樹立して首班となった。

- ①カイロ会談は、アメリカ合衆国・イギリス・中華民国の3国首脳によって開催された。
- ③中華ソヴィエト共和国臨時政府は、1931年に毛沢東を主席として瑞金で成立した。重慶は日中戦争で首都である南京が陥落したため、武漢に次いで国民政府が首都とした。
- ④八・一宣言は国民政府の攻撃から逃れている中国共産党が、長征の途上で発表した。

問9 18 正解は④。

台湾では1988年に蔣介石の子蔣経国が死去し、李登輝が中華民国総統に就任した。彼の在任中に立法院委員(国会議員に相当)選挙や総統の直接選挙が行われ、民主化が進展した。①1989年の東欧革命の中で、チャウシェスクの独裁政権が崩壊したのは、ルーマニアである。ポーランドではワレサなどが指導する自主管理労組「連帯」が合法化され、複数政党制が認められた初の選挙で第一党となった。②朴正熙は軍部クーデタで政治の実権を握り、1963年に大統領に就任してから長期の独裁政治を行い、民主化運動を弾圧した。韓国で民主化が推進されたのは、1980年代後半の盧泰愚政権以降である。③中国(中華人民共和国)は成立時から民主化運動を抑圧し続けており、特に1989年の天安門事件では学生や知識人を中心とする民主化・自由化を要求する集会を武力で弾圧した。九・三〇事件は1965年にインドネシアで発生した、軍部によるクーデタ未遂事件である。これを機に、スカルノに代わってスハルトが実権を握り、大統領に就任して開発独裁を行った。

## 第3問 国家が諸地域を統合するために採用した制度

A

問1 19 正解は②。

イクター制は従来のアター(俸給)に代わってイクター(分与地)の徴税権を与える制度で、10世紀にブワイフ朝によって創設され、これを滅ぼしたセルジューク朝によって整備された。①コロナトウス(コロナトウス)は帝政ローマの時代に広まった。共和政ローマ期では奴隷を使役した大農場であるラティフンディアが広く経営されていた。

③均田制を創始したのは、南北朝時代の北魏<sup>ほくぎ</sup>である。唐代中期まで機能していた。④テイマル制はイクター制と同様に封土に対して徴税権を与える制度で、オスマン帝国で施行された。

問 2  正解は③。

治安維持法は 1925 年(大正 14 年)に、社会主義的な思想や政治運動などを取り締まるために制定された。大正デモクラシーの風潮の中で参政権拡大の世論が高まり、その頂点として男性普通選挙が実現することとなるが、治安維持法は普通選挙法の制定に先立って議会で可決・施行された。①朱全忠は唐を滅ぼして後梁<sup>こうりょう</sup>を建国した。文字の獄は清朝などで行われた思想弾圧である。反清思想に対してこれを行った皇帝としては、第 5 代の雍正帝<sup>ようせい</sup>などが有名である。②焚書<sup>ふんしょ</sup>・坑儒<sup>こうじゆ</sup>を行い、儒者を弾圧したのは、秦の始皇帝である。曹操<sup>そうそう</sup>は儒家と対立することはあったが、このような思想統制は行っていない。④カトリック教徒解放法を発してカトリック教徒の公職就任を認めたのは、イギリスである。スペインは元々カトリック国である。

問 3  正解は④。

にはスタンリー、には南極が入る。スタンリーは 19 世紀にアフリカ大陸内陸部を探検し、先に探検中に消息不明となっていたリヴィングストンを「発見」した。またベルギー王レオポルド 2 世の依頼でコンゴ川流域の調査・探検を行い、リヴィングストンとともに列強のアフリカ分割のきっかけを作った。タスマンは 17 世紀に太平洋の南部を航海し、オーストラリアやニュージーランドに到達した。極地探検では 1909 年にアメリカのピアリが北極点に到達し、1911 年にノルウェーのアムンゼンが南極点に到達した。問題文中のイギリス人のスコットはアムンゼンに 1 カ月遅れて南極点に到達したが、帰還中に遭難死した。

## B

問 4  正解は④。

地図中の a は黄河、b は大運河の流域を表す。魏晋南北朝時代を統一した隋は華北と江南地域の統合を進めるため、黄河と長江をつなぐ大運河を建設した。江南地域の物資の華北への大規模な運搬が可能となり、華北は政治の中心、江南は経済の中心として地域ごとの役割が明確なものとなった。これにより三国時代以降続いた江南地域の発展が一層進んだ。黄河の治水事業は隋代以前から諸王朝が行ってきたが、中国の北部と南部の統合を目的としたものではない。

問5 23 正解は③。

米州機構(OAS)は、1948年に開催された第9回パン＝アメリカ会議において採択された米州機構憲章(ボゴタ憲章)に基づいて結成された国際機構である。第二次世界大戦後に冷戦構造の形成に至る中で、アメリカ合衆国がラテンアメリカ諸国の共産主義国化を防ぐために結成した。①契丹(キタイ)は五代の後晋から万里の長城以南の燕雲十六州を割譲され領有しており、後晋滅亡後はこの地をめぐる後周や宋(北宋)と争った。秦が争った北方の国家は匈奴である。②オランダ独立戦争の過程で、ネーデルラント北部のユトレヒト同盟はスペインからの独立を宣言した。④中央アジアの騎馬遊牧民族であるエフタルは5～6世紀にインドに侵入したが、当時インドを支配していたのはムガル帝国ではなくグプタ朝である。

問6 24 正解は②。

唐代前期では均田制に基づいて府兵制が採用されていたが、均田制の崩壊によって軍事力の維持が困難になったことから、8世紀前半の玄宗(げんそう)期に傭兵を用いる募兵制が採用された。①五胡(ごこ)と総称される諸民族は晋(西晋)の八王の乱に乗じて長城内に侵入し、4世紀から5世紀前半にかけて華北で相次いで王朝を樹立した(五胡十六国時代)。③康熙(こうき)帝は清の第4代皇帝で、ジュンガルと戦ったのは17～18世紀のことである。④ロシアは1860年の北京条約で、清から沿海州を獲得して領有した。

C

問7 25 正解は④。

世界恐慌への対策の一つとして、イギリスのマクドナルド挙国一致内閣は1931年に金本位制を停止し、管理通貨制度に移行した。①五銖(ごしゆせん)銭は、前漢の武帝の治世に半両銭に代わって流通が始まった貨幣である。②交鈔(こうしやう)が発行されたのは金・元である。紙幣は宋(北宋)代に交子が発行されたのが最初で、北魏時代には紙幣は流通していなかった。③レンテンマルクの発行を決定したのは、ドイツのシュトレーゼマン内閣である。第一次世界大戦後のフランス・ベルギーが行ったルール占領によってドイツ経済が混乱したため、ハイパーインフレーション解消を目的として通貨単位の切り下げを行った。ストルイピンはロシアの政治家。第1次ロシア革命後に首相となり、ミール解体を試みたが、十分な成果をあげられなかった。

問8 26 正解は④。

イギリス東インド会社はインド経営に際して軍事力としてシパーヒーと呼ばれるインド人傭兵を雇用していたが、イギリス人によるインドの植民地化に抵抗して、シパーヒー



ーは 1857 年に反乱を起こした(インド大反乱)。①マラトンの戦いでアケメネス朝ペルシア軍に勝利したのは、アテネの重装歩兵軍である。ペルシア戦争においてスパルタ軍は、テルモピレーの戦いやプラタイアの戦いなどでペルシア軍と戦った。②ゲルマン人の傭兵隊長オドアケルは、476 年に西ローマ皇帝を退位させて西ローマ帝国を滅ぼし、イタリアを支配した。③三十年戦争でヴァレンシュタインは、神聖ローマ帝国軍の傭兵隊長としてグスタフ＝アドルフ率いるスウェーデン軍と戦った。

問 9  正解は③。

a は誤文、b は正文である。a—プロノイア制は 11 世紀以降にビザンツ帝国で用いられた制度で、軍役や皇帝への奉仕と引き換えに土地の徴税権を与えた。当初は一代限りのものであったが、次第に世襲化されるようになった。b—漢(前漢)の高祖(劉邦)は統治制度として郡国制を採用し、都の長安周辺では郡県制、地方では一族や功臣を諸侯王とする封建制を併用した。高祖以降の歴代皇帝は諸侯王の勢力削減を行い、武帝の治世で事実上の郡県制に移行した。

## 第 4 問 世界史における自然環境・資源と人間との関わり

A

問 1  正解は④。

地図中の a はアステカ王国、b はインカ帝国である。インカ帝国はアンデス高原のペルーを中心に繁栄した国家で、1533 年にスペイン人征服者(コンキスタドール)のピサロによって都のクスコが陥落して滅ぼされた。a のアステカ王国はメキシコ高原に繁栄した国家で、1521 年にコルテスによって都のテノチティランが陥落して滅ぼされた。

問 2  正解は④。

にはポトシ、 にはマニラが入る。ポトシ銀山は現在のボリビア共和国に位置し、1545 年に発見されて以降採掘が進んだ。この銀山などで採掘された銀はヨーロッパとアジアに運ばれ、ヨーロッパへは大西洋を経由してスペイン本国に運ばれ、王室の財政を支えた。アジアへはメキシコのアカプルコからフィリピンのマニラに運ばれ、中国産の陶磁器や絹織物の購入に充てられた。クスコはペルーの都市でインカ帝国の都、フエはベトナム中部の都市で阮朝越南国の都となった。

問 3  正解は③。

プレヴェザの海戦は 1538 年に地中海東部で起こった戦いで、スレイマン 1 世治世下の

オスマン帝国の海軍がスペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇の連合軍に勝利した。①アクティウムの海戦は前31年に地中海東部で起こった戦いで、アントニウスとプトレマイオス朝エジプトのクレオパトラの連合軍にオクタウィアヌスが勝利した。②トラファルガーの海戦は1805年にイベリア半島南西部沖で起こった戦いで、フランス・スペインの連合艦隊にネルソン率いるイギリス艦隊が勝利した。④ミッドウェー海戦は1942年に中部太平洋で起こった戦いで、日本艦隊にアメリカ艦隊が勝利した。

## B

問4 31 正解は②。

aは正文、bは誤文である。a—タレスはイオニア地方のミレトス出身のギリシア人哲学者で、万物の根源を水とした。前6世紀以降の古代ギリシア世界では自然哲学が発達し、万物の根源を探ることが流行した。タレスのほかピタゴラスは数を、デモクリトスは原子を万物の根源と主張した。b—宋応星<sup>そうおうせい</sup>は明代後期の学者で、1637年に産業技術書である『天工開物<sup>てんこうかいぶつ</sup>』を著した。薬学書である『本草綱目<sup>ほんそうこうもく</sup>』を著したのは、同じく明代後期の学者李時珍<sup>りじちん</sup>である。

問5 32 正解は①。

地図中のaはチャンパー、bはマタラム王国である。チャンパーは2世紀にベトナム中部で成立し、インド文化の影響を受けてヒンドゥー教を受容した。チャンパーは中国とも交流を持ち、中国の史書では林邑<sup>りんゆう</sup>・環王<sup>かんおう</sup>・占城<sup>せんじょう</sup>などと表記された。宋代に江南地域に流入した占城<sup>せんじょう</sup>稲は、チャンパーからもたらされた早稲種である。マタラム王国は16世紀頃にジャワ島東部で成立した国家で、イスラーム教を受容した。ジャワ島中部には8世紀にマタラム朝(古マタラム朝)が成立し、ヒンドゥー教を奉じた。

問6 33 正解は②。

ペルシア戦争中の前480年に起こったサラミスの海戦では、テミстокレス率いるアテネ海軍が三段櫂船<sup>さんだんかいせん</sup>を用いてアケメネス朝ペルシア海軍に勝利した。このとき三段櫂船の漕ぎ手として無産市民が活躍したことが、後の直接民主政の確立につながった。①第一次世界大戦中に無制限潜水艦作戦を実行したのは、イギリスではなくドイツである。②蒸気船を実用化したのはフルトンである。ハーグリーブズは多軸紡績機(ジェニー紡績機)を発明した。④亀甲船<sup>きっこうせん</sup>は豊臣秀吉の朝鮮出兵(文禄・慶長の役)の時に、朝鮮王朝の將軍李舜臣<sup>りしゆんしん</sup>が用いた軍艦である。

## C

問 7  正解は①。

a—スエズ運河が開通したのは、19 世紀後半の 1869 年である。スエズ運河は地中海と紅海を結ぶエジプトの運河で、ヨーロッパとアジアの航行距離の大幅な短縮に成功した。同年にはアメリカ合衆国で最初の大陸横断鉄道が開通した。b—テネシー川流域開発公社 (TVA) が設立されたのは、20 世紀前半の 1933 年である。アメリカ合衆国のフランクリン＝ローズヴェルト大統領が掲げたニューディールの一つで、電力供給と失業者雇用を目的とした。c—エジプトのナセル大統領がアスワン＝ハイダムの建設を目指したのは、20 世紀後半の 1956 年である。当初はアメリカ合衆国やイギリスから資金援助を受けて建設する予定であったが、エジプトがソ連に接近する姿勢を見せたことで援助が凍結されたため、ナセル大統領はスエズ運河国有化を宣言して通行料をダム建設費用に充てようとした。よって、年代の古いものから順に正しく配列すると、a→b→c となる。

問 8  正解は②。

クシュ王国は前 10 世紀頃にナイル川上流のスーダンに成立した国家で、最初はナパタを都としていた。前 8 世紀にナイル川下流のエジプトに侵攻して支配したが、前 7 世紀にアッシリアの侵攻を受けてスーダンに後退し、この頃にメロエに遷都した。一時支配したエジプトから技術・文化を吸収し、高度な製鉄技術を持っていた。①鉄製武器を初めて本格的に用いたインド＝ヨーロッパ語系の民族は、ヒッタイト人である。アッカド人はメソポタミア地方を最初に統一したセム語系の民族である。③ハンザ同盟は北ドイツを中心とする北海・バルト海を商業圏とする都市同盟であり、リューベックを盟主として木材や海産物などを取引した。イタリアの都市であるフィレンツェは加盟していない。④コークス製鉄法を発明したのは、ダービー父子である。ジョン＝ケイは飛び杼を発明した。

問 9  正解は①。

にはリンネ、 にはゲーテが入る。リンネはスウェーデンの学者で、動物や植物の分類の研究を行った。ゲーテはドイツの古典主義作家で、戯曲『ファウスト』や小説『若きウェルテルの悩み』などを著した。メンデルはオーストリアの聖職者・学者で、遺伝の法則 (メンデルの法則) を発見した。シラーはゲーテと同時代のドイツの作家で、戯曲『群盗』を著した。